



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 トレイダーズホールディングス株式会社
コード番号 8704 URL <http://www.tradershd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 金丸 貴行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 新妻 正幸

TEL 03-6736-9850

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 2024年2月13日発表

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する四半期 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,830	16.2	7,688	18.0	3,768	37.6	3,753	37.5	2,878	29.7
2023年3月期第3四半期	6,736	34.3	6,516	35.0	2,738	60.6	2,730	60.4	2,219	29.2

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,889百万円 (29.8%) 2023年3月期第3四半期 2,225百万円 (28.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	100.74	
2023年3月期第3四半期	76.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	106,135	13,632	12.8	487.48
2023年3月期	88,317	11,975	13.6	416.91

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 13,600百万円 2023年3月期 11,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		8.00		17.00	17.00
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	9.8	4,000	6.9	4,000	7.2	3,000	6.8	105.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	29,538,647 株	2023年3月期	29,538,647 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,639,604 株	2023年3月期	815,364 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	28,570,671 株	2023年3月期3Q	29,034,701 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「売上原価」に含めていた海外子会社の人件費等の費用について、経済的実態をより適切に四半期連結財務諸表に表示するため、「販売費及び一般管理費」に含めて表示する方法に変更しております。そのため、第24期第3四半期連結累計期間及び第24期連結会計年度との比較・分析は、この表示方法の変更を反映させた組替え後の数値で行っております。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇による実質賃金の長期的な低下により消費者マインドの悪化が懸念されましたが、旅行や外食等の外出型消費の回復により個人消費は緩やかに持ち直す動きが見られました。企業収益に関してもアフターコロナの新しい社会への対応が進み、非製造業を中心に持ち直す動きが見られました。一方、海外においては、世界的な金融引き締めによる景気減速、中国経済のさらなる減速、ウクライナ侵攻及び中東紛争等の地政学的リスクに起因する海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況が続きました。

外国為替（以下、「FX」といいます。）市場におきましては、2023年10月に1米ドル＝149円45銭で始まった米ドル/円相場は、堅調な米雇用統計を受けて一時1米ドル＝150円台前半まで円安が進みましたが、日銀による為替介入への警戒感が強く、その後は1米ドル＝148円台前半から149円台後半の間で推移しました。10月末の日銀金融政策決定会合で緩和的な金融政策が維持されたことを受け1米ドル＝151円台後半まで円は売られました。11月の米雇用統計が市場予想を下回ったことや米消費者物価指数（CPI）がインフレ鈍化を示したこと等で、米国における早期利下げ観測が高まり11月末にかけて1米ドル＝146円台後半まで円が買われました。さらに、12月には植田日銀総裁の発言を受け日銀が金融政策を早期に修正するとの観測が高まり1米ドル＝141円台後半まで急速な円高が進みました。その後、146円台半ばまで円が売られる展開となりましたが、FOMC参加者の政策金利見通しで2024年の利下げ幅が拡大したことで米国の早期利下げ観測が強まり、再び1米ドル＝140円台後半まで円高が進行しました。12月はひと月で148円台前半から140円台前半へ変動するボラティリティの高い相場展開となり、当第3四半期連結会計期間末は1米ドル＝141円6銭で取引を終了しました。

このような市場環境のもと、当社グループの主力事業であるFX取引事業を中核とする金融商品取引事業は、子会社であるトレーダーズ証券株式会社（以下、「トレーダーズ証券」といいます。）において、『みんなのFX』（FX証拠金取引）、『LIGHT FX』（FX証拠金取引）、『みんなのシストレ』（自動売買ツールを利用したFX証拠金取引）及び『みんなのオプション』（FXオプション取引）、『みんなのコイン』（暗号資産証拠金取引）のサービスを提供し収益確保を図ってまいりました。収益を確保する上で重要な指標となる顧客からの預り資産は、四半期連結会計期間末において944億68百万円（前連結会計年度末比141億1百万円増、17.5%増）となりました。当第3四半期連結累計期間のトレーディング損益は75億79百万円（前年同期比11億91百万円増、18.6%増）と昨年を上回りました。

また、子会社である株式会社FleGrowth（以下、「FleGrowth」といいます。）が営むシステム開発・システムコンサルティング事業は、トレーダーズ証券向けにFX取引システムの開発及び保守・運用を行うとともに、外部顧客向けにFX取引及び暗号資産証拠金取引に関連したシステム開発などのフィンテックサービス、物流や医療などの分野のDX支援、Web制作及びセールスコンサルティングを行い収益の確保を図ってまいりました。当第3四半期連結累計期間のシステム開発・システムコンサルティング事業における外部顧客に対する営業収益は、1億87百万円（前年同期比82百万円減、30.6%減）と前年を下回る結果となりました。

以上の結果、営業収益合計は、78億30百万円（前年同期比10億94百万円増、16.2%増）となり、売上原価、金融費用を差し引いた純営業収益合計は、76億88百万円（前年同期比11億71百万円増、18.0%増）となりました。

一方、販売費及び一般管理費は39億20百万円（前年同期比1億41百万円増、3.7%増）となりました。増加の主な要因は、FX取引事業において広告代理店を変更したことで広告宣伝費が減少したこと等により取引関係費が13億53百万円（前年同期比4億2百万円減、22.9%減）に減少した一方で、人件費が15億33百万円（前年同期比2億40百万円増、18.6%増）、不動産関係費が5億26百万円（前年同期比1億21百万円増、29.8%増）、減価償却費が2億42百万円（前年同期比66百万円増、37.9%増）、その他販管費が1億20百万円（前年同期比90百万円増、303.1%増）に増加したこと等によります。

その結果、営業利益は、37億68百万円（前年同期比10億30百万円増、37.6%増）、経常利益は37億53百万円（前年同期比10億23百万円増、37.5%増）となりました。

特別利益は、賞与引当金戻入額3百万円を計上した結果、3百万円（前年同期比11百万円減、78.5%減）となりました。特別損失は、本社移転費用18百万円等を計上した結果、32百万円（前年同期比37百万円減、53.7%減）となりました。

法人税等合計は、税金等調整前四半期純利益の増加による繰越欠損金の充当を反映して繰延税金資産を取崩した結果、法人税等調整額が増加したため8億46百万円（前年同期比3億91百万円増、85.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は28億78百万円（前年同期比6億59百万円増、29.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

(金融商品取引事業)

トレーダーズ証券が営む当セグメントの営業収益は76億43百万円(前年同期比11億82百万円増、18.3%増)、セグメント利益は31億93百万円(前年同期比10億41百万円増、48.4%増)となりました。

なお、FX取引事業及び暗号資産証拠金取引事業の当第3四半期連結会計期間末における顧客口座数、預り資産は以下のとおりとなりました。

顧客口座数	538,416口座	(前連結会計年度末比	37,653口座増)
預り資産	944億68百万円	(前連結会計年度末比	141億1百万円増)

(システム開発・システムコンサルティング事業)

FleGrowthが営む当セグメントの営業収益は20億9百万円(前年同期比1億54百万円増、8.3%増)となりました。同収益の内訳は、グループ会社であるトレーダーズ証券に対するFX取引及び暗号資産CFD取引システムの開発・保守運用等の内部売上が18億22百万円(前年同期比2億36百万円増、14.9%増)、外部顧客に対する売上が1億87百万円(前年同期比82百万円減、30.6%減)であります。セグメント利益は5億75百万円(前年同期比25百万円減、4.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

連結財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して178億17百万円増加し、1,061億35百万円となりました。これは主に、現金及び預金が22億91百万円、顧客分別金信託が148億18百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して161億60百万円増加し、925億3百万円となりました。これは主に、トレーディング商品が17億18百万円、受入保証金が141億46百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して16億57百万円増加し136億32百万円となりました。これは主に、剰余金の配当7億15百万円及び自己株式の取得7億4百万円により減少した一方で、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益28億78百万円及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分1億55百万円等により増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の2024年3月期通期連結業績予想より修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,235	7,527
仕掛品	6	2
預託金	72,646	87,466
顧客分別金信託	72,634	87,452
その他の預託金	12	14
トレーディング商品	543	4
短期差入保証金	7,119	8,610
外国為替差入証拠金	6,762	8,242
暗号資産差入証拠金	352	362
その他の差入証拠金	5	5
その他	779	696
貸倒引当金	△10	△0
流動資産計	86,320	104,307
固定資産		
有形固定資産	285	273
建物	213	218
減価償却累計額	△6	△39
建物(純額)	207	179
工具、器具及び備品	132	164
減価償却累計額	△54	△70
工具、器具及び備品(純額)	78	93
無形固定資産	638	685
ソフトウェア	609	684
その他	29	1
投資その他の資産	1,072	869
投資有価証券	—	80
長期立替金	173	169
長期預け金	172	—
繰延税金資産	543	348
その他	356	440
貸倒引当金	△173	△169
固定資産計	1,997	1,828
資産合計	88,317	106,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	208	1,927
預り金	20	42
受入保証金	73,083	87,230
外国為替受入証拠金	72,949	87,110
暗号資産受入証拠金	134	119
短期借入金	860	1,206
1年内返済予定の長期借入金	72	102
1年内償還予定の社債	100	600
未払法人税等	288	384
賞与引当金	181	—
その他	411	510
流動負債計	75,226	92,004
固定負債		
社債	600	—
長期借入金	463	429
役員退職慰労引当金	16	29
退職給付に係る負債	36	40
その他	0	0
固定負債計	1,115	498
負債合計	76,342	92,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	901	961
利益剰余金	9,768	11,930
自己株式	△310	△920
株主資本合計	11,922	13,536
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	52	63
その他の包括利益累計額合計	52	63
新株予約権	—	31
非支配株主持分	—	0
純資産合計	11,975	13,632
負債・純資産合計	88,317	106,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益		
受入手数料	70	62
トレーディング損益	6,388	7,579
金融収益	0	1
その他の売上高	270	187
その他	5	—
営業収益計	6,736	7,830
金融費用	40	40
売上原価	179	101
純営業収益	6,516	7,688
販売費及び一般管理費		
取引関係費	1,755	1,353
人件費	1,292	1,533
不動産関係費	405	526
事務費	55	59
減価償却費	176	242
租税公課	62	84
その他	29	120
販売費及び一般管理費合計	3,778	3,920
営業利益	2,738	3,768
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	2
助成金収入	7	2
その他	2	0
営業外収益合計	11	5
営業外費用		
支払利息	10	10
為替差損	4	6
その他	4	2
営業外費用合計	19	20
経常利益	2,730	3,753
特別利益		
投資有価証券売却益	14	—
賞与引当金戻入額	—	3
特別利益合計	14	3
特別損失		
固定資産除却損	—	6
減損損失	—	6
事業整理損失引当金繰入額	61	—
本社移転費用	8	18
特別損失合計	69	32
税金等調整前四半期純利益	2,674	3,724
法人税、住民税及び事業税	455	651
法人税等調整額	—	194
法人税等合計	455	846
四半期純利益	2,219	2,877
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,219	2,878

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,219	2,877
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6	11
その他の包括利益合計	6	11
四半期包括利益	2,225	2,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,225	2,889
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	320	11	2022年3月31日	2022年6月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2022年7月20日開催の取締役会において当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行うことについて決議し、2022年8月10日に新株式の発行を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が64百万円増加、資本準備金が58百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が15億64百万円、資本準備金が5億58百万円となっております。

また、2022年8月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式792,700株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取りによる取得も含め、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が3億2百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式は3億10百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月27日 定時株主総会	普通株式	488	17	2023年3月31日	2023年6月28日	利益剰余金
2023年10月17日 取締役会	普通株式	227	8	2023年9月30日	2023年12月4日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2023年7月19日開催の取締役会において当社の取締役に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行うことについて決議し、2023年8月10日に自己株式の処分を実施いたしました。この処分により自己株式は248,700株減少し、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が60百万円増加、自己株式が94百万円減少しております。

また、2023年8月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式516,900株及び2023年11月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式547,800株の取得を行っております。この自己株式の取得及び単元未満株式の買取りによる取得も含め、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が7億4百万円増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金は9億61百万円、自己株式は9億20百万円となっております。

(セグメント情報)

1. 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金融商品 取引事業	システム開発 ・システム コンサルティング事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する 営業収益	6,460	270	6,730	5	6,736	-	6,736
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	-	1,585	1,585	-	1,585	△1,585	-
計	6,460	1,855	8,315	5	8,321	△1,585	6,736
セグメント利益	2,152	601	2,753	5	2,759	△21	2,738

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理事務受託事業、投資事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△21百万円には、セグメント間取引消去、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

(1) 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金融商品 取引事業	システム開発 ・システム コンサルティング事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する 営業収益	7,643	187	7,830	-	7,830	-	7,830
セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	-	1,822	1,822	-	1,822	△1,822	-
計	7,643	2,009	9,652	-	9,652	△1,822	7,830
セグメント利益 又は損失(△)	3,193	575	3,769	△13	3,756	12	3,768

- (注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額12百万円には、セグメント間取引消去、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「金融商品取引事業」セグメントにおいて、収益性の見込めないソフトウェアについて減損損失を計上しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては6百万円であります。